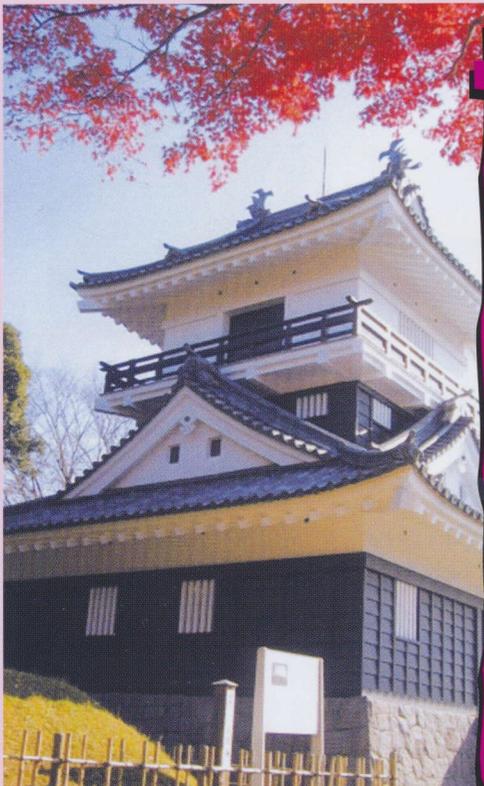
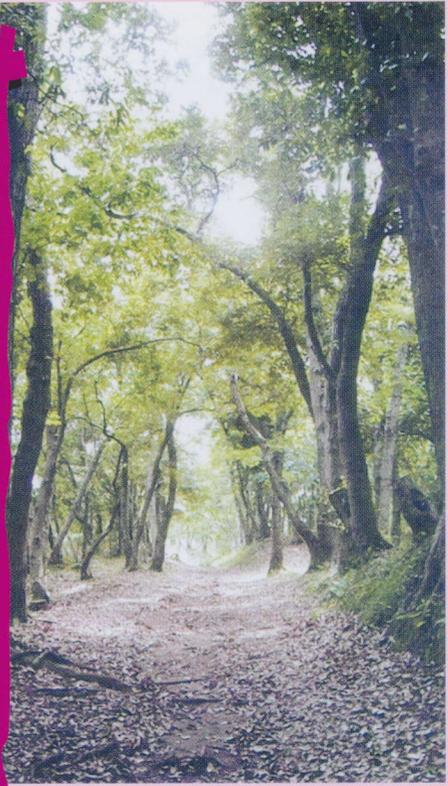


城と生きた水の里
久留里



ちば眺望100景の久留里城天守閣



500年前からある自然の登城道



JR久留里駅前の水くみ広場



上総掘り井戸掘削足場 (資料館境内)

君津市観光協会
ぐるりボランティアガイドの会

関東で最大級の土屋家五輪塔



曹洞宗・円覚寺境内にある。高さ4尺級の五輪塔が3基あり、関東でも最大級。土屋家初代の忠直、2代利直、忠直の奥方の供養塔。忠直は徳川家康に見出され、2万石の大名として久留里城主となる。

江戸時代の偉人・新井白石居宅跡



久留里小学校付近にあり、白石が青年期の3年間に在住。白石は徳川の6代、7代将軍に仕え、将軍に儒教を教え、法律を作り、江戸時代の偉人と言われる。自叙伝「折りたく柴の記」は有名。

黒田家の祈願所 円如寺



真言宗智山派。応永2年(1395)久留里市場字山王前に開基されたが、元龜2年(1571)に現在の小市部に移転した。その後久留里城主・黒田家の祈願所となる。

街中に点在の上総掘り井戸



明治中期、上総地方で開発された。足場を設置し、地下300~700尺掘ると、きれいな水の水脈に達し、自噴する。街中に点在し、平成の名水100選に「生きた水・久留里」として指定された。

里見氏ゆかりの加勢観音堂



浄土宗・正源寺境内にある。戦国大名の里見義堯が小田原北条と何回も壮烈な合戦を行った。ある時夢枕に観音様が現れ、必勝のお告げがあり、その通りの作戦で勝利を収め、加勢観音と名づけた。

久留里城主 黒田家九代直養の墓



曹洞宗・真勝寺境内にある。久留里城主・黒田家九代目の直養は、江戸時代から明治時代を経て、大正8年に死去。久留里地区発展に尽力。黒田家八代目までの墓は埼玉県飯能市の能仁寺の高台にある。



久留里神社



妙長寺



新町 神明社



下町 浮戸神社



怒田 大日堂



久留里の大井戸

〔久留里城の歴史〕

戦国時代の初期、安房から進出してきた里見義堯が浦田の峰に城を築いた。その後、里見氏と小田原北条との間で久留里、国府台、鎌倉、三舟山で壮絶な合戦が行われた。江戸時代では、大須賀氏が三万石の大名として久留里城に入城。土屋家三代、黒田家九代が城主となり、明治維新を迎え、久留里は城下町として栄えた。明治中期に上総掘り井戸が開発され、2008年に平成の名水100選に選ばれた。名水を原料とした酒蔵元があり、数年前から名産として淡水魚のホンモロコが養殖されている。

〔ガイド内容〕

- 久留里城周辺＝約1時間
- 城下町(町並み)＝約2時間
- JR久留里駅→久留里城＝約2km
- JR久留里駅→土屋家五輪塔＝約1.5km
- ガイド時間＝午前10時～午後3時
- 原則的に3名以上
- 予約は2週間前
- ガイド料金＝無料
- 予約先・連絡先＝久留里観光交流センター
(☎・Fax. 0439-27-2875)

〈久留里地区の歳時記〉

- 久留里夏祭り＝7月 (神輿渡御、山車引き回し)
- 久留里城まつり＝10月 (武者行列)



(久留里夏祭りは山車4基や神輿渡御で賑わう)



(久留里城まつりで手作り甲冑着用の武者行列)

◇久留里地区の主な土産品＝地酒、銘菓、豆腐、ホンモロコ甘露煮

